

当院における転倒転落予防対策に関する研究へご協力をお願い

このたび当院では、従来より行っている入院患者さんの転倒転落予防策について、診療情報（電子カルテの各種記録内容）を用いた下記の研究を、倫理委員会の承認、ならびに病院長の許可のもと、倫理指針、および法令を遵守して実施することとなりましたので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、電子カルテより得た情報につきましては、すべて匿名化し、あらゆる面から個人が特定されないよう最大限の配慮をいたします。

本研究へのご協力、診療情報の使用を望まれない患者さんは、その旨を「お問い合わせ」に示しました連絡先まで、お申し出下さいますようお願いいたします。

<対象となる方>

2022年4月1日から2025年3月31日に当院に入院、転倒転落予防策を実施した患者さん

<研究課題名>

承認番号 2024-030（済生会中央病院倫理委員会承認）
課題名 離床センサ内蔵ベッドを全床に導入した入院病棟における転倒転落予防策
～入院病棟における患者見守りシステムの構築にむけて～

<本研究の実施期間>

倫理審査の承認を得たのち、2025年8月31日まで

<本研究の目的>

入院病棟で行われている転倒転落予防策の現状と課題を抽出し、より効果的に入院患者さんの行動を見守り転倒転落予防を行うために必要な情報を抽出します。このことにより、入院患者さんの転倒転落の予防対策がより有効に行えるようになり、転倒転落による弊害を最小限に抑えることができることを目的としています。

<プライバシーの保護>

この研究で得られた結果は、専門の学会や学術雑誌に発表されることもあります。患者さんのプライバシーは十分に尊重されます。患者さん個人に関する情報（氏名など）が外部に公表されることは一切ありません。

<お問い合わせ>

本研究へのご協力について賛同いただけない場合や質問などありましたら、下記までご連絡ください。

研究機関

〒131-0041 東京都墨田区八広 1-5-10

東京都済生会向島病院 電話 03-3610-3651

研究責任者 東京都済生会向島病院 看護部 今泉 和子(いまいずみ かずこ)